

令和2年度 高圧ガス事故データ（権限移譲市を除く）

No. 1					
年月日	R2. 6. 17	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	その他（経年劣化）		
ガス名	フルオロカーボン （R22）	区分	その他	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の空冷ヒートポンプチラーに油漏れを確認したため、点検を実施したところ水熱交換器の冷媒配管のピンホールからの冷媒（R22）漏えいを確認した。				
原因	配管の腐食によりピンホールが開いた。				
対策	機器の入替と同一事象が起きないように点検業者への注意喚起。				

No. 2					
年月日	R2. 6. 18	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	締結管理不良		
ガス名	フルオロカーボン （R134A）	区分	1種	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の空冷ヒートポンプチラーの圧力ゲージが、高圧・低圧ともに0MPaなので確認すると、圧縮機ターミナル部から冷媒（R134A）が漏えいしていた。				
原因	ターミナルブロック固定ナットの緩み。				
対策	圧縮機の更新、チェックシートの作成、締付値の管理及び徹底。				

No. 3					
年月日	R2. 7. 11	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	施工管理不良		
ガス名	フルオロカーボン （R407C）	区分	その他	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備のラジエータコイルと水配管の接続部を切断中、誤って凝縮器の銅配管を損傷しフルオロカーボン（R407C）が漏えいした。				
原因	水配管を切断中に作業者がバランスを崩し、電動切断工具の刃先を凝縮器の銅配管に接触し、破損してしまった。				
対策	高圧配管付近での工事実施時は、隔離用の鉄板等を使用し、作業エリアと高圧ガスの系統を分離した作業ができるよう、教育と工事管理を行う。				

令和2年度 高圧ガス事故データ（権限移譲市を除く）

No. 4					
年月日	R2. 7. 23	規則	一般	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	その他（経年劣化）		
ガス名	液化石油ガス	区分	1種	人的被害	なし
事故概要	液化石油ガス製造設備の漏えい検知器が作動したため、確認したところ圧縮機のリキッドコンプレッサー下部より液化石油ガスの漏えいを確認した。				
原因	リキッドトラップ下部の老朽化による亀裂の発生。				
対策	圧縮機の更新。				

No. 5					
年月日	R2. 8. 3	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	腐食管理不良		
ガス名	フルオロカーボン (R407C)	区分	2種	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の空冷ヒートポンプチラーが警報を発生し停止したため、確認したところ熱交換器内部より冷媒（R407C）が漏えいしていることを確認した。				
原因	冷水用熱交換器の水系統の水質管理不良により、熱交換器のステンレスプレート又は銅ろう付け接合部が腐食し冷媒が漏えいした。				
対策	熱交換器の定期的な洗浄、ストレーナーの設置及び水質管理の徹底。				

No. 6					
年月日	2. 10. 1	規則	液石	内訳（分類）	災害（C1）
事故事象	火災	主原因	誤操作・誤判断		
ガス名	液化石油ガス	区分	その他	人的被害	軽症者1名
事故概要	工事で使用するために使用予定の液化石油ガス容器のハンドトーチバーナを試運転中、誤操作により火災が発生し、容器を積載していた軽トラックが全損した。				
原因	ハンドトーチバーナの誤操作。				
対策	対策は機器の入替と同一事象が起きないように点検業者への注意喚起。				

令和2年度 高圧ガス事故データ（権限移譲市を除く）

No. 7					
年月日	R2. 10. 19	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	シール管理不良		
ガス名	フルオロカーボン (R134A)	区分	1種	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備が低圧異常により停止したため点検を行ったところ、電磁弁から冷媒(R-134A)が漏えいしていることを確認した。				
原因	電磁弁グランド部のOリングの劣化。				
対策	漏れ部の増し締め、設備運転の停止、修理。				

No. 8					
年月日	R2. 11. 25	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	腐食管理不良		
ガス名	フルオロカーボン (R410A)	区分	その他	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の操作盤エラー表示により、室外機の冷媒圧力が0.0MPaとなっていることを確認した。調査したところ、室内機の膨張弁から冷媒が漏えいしていた。				
原因	経年劣化による腐食管理不良。				
対策	膨張弁の交換。				

No. 9					
年月日	R2. 12. 14	規則	—	内訳	喪失
事故事象	喪失	主原因	喪失		
ガス名	混合ガス(炭酸ガス＋ フェノトリン1%)× 2.4kg×1本	区分	—	人的被害	なし
事故概要	販売先からの長期未返却容器があり、所在を調査したところ客先にて喪失していることを確認した。				
原因	—				
対策	延滞日数の設定と容器の定期管理。				

令和2年度 高圧ガス事故データ（権限移譲市を除く）

No. 10					
年月日	R3. 1. 2	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事件事象	噴出・漏えい	主原因	締結管理不良		
ガス名	アンモニア	区分	2種	人的被害	なし
事故概要	漏えい警報が発報し、機械停止及び除害設備が稼働。アンモニア冷媒が溶け込んだ潤滑油がポンプ吐出弁フランジ部分から漏油し、アンモニアの漏えいを確認した。				
原因	熱膨張や振動の影響により、オイルポンプ出口弁のフランジのボルトが緩み冷媒が漏えい。				
対策	毎月の点検時の増し締め及び目視点検の実施。				

No. 11					
年月日	R3. 1. 6	規則	一般	内訳（分類）	災害（C2）
事件事象	噴出・漏えい	主原因	シール管理不良		
ガス名	炭酸ガス	区分	1種	人的被害	なし
事故概要	設備の終了点検時に高圧ポンプの可動シール部から異音が発生したため点検したところ、炭酸ガスの漏えいを確認した。漏えい量は微量。				
原因	ナットが緩んだことによるパッキンの咬合性の悪化。				
対策	同様の事故発生防止のための開放検査の実施。				

No. 12					
年月日	R3. 1. 14	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事件事象	噴出・漏えい	主原因	締結管理不良		
ガス名	アンモニア	区分	その他	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の漏えい警報が発報したため確認したところ、アンモニアの漏えいを確認した。				
原因	ストレーナーのスクリーンホルダーネジ部の締め付け不良。				
対策	ネジ部のロックタイト使用による緩み防止及び点検時の増し締め確認。				

令和2年度 高圧ガス事故データ（権限移譲市を除く）

No. 13					
年月日	R3. 1. 29	規則	冷凍	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	腐食管理不良		
ガス名	フルオロカーボン （R22）	区分	1種	人的被害	なし
事故概要	冷凍設備の過熱度調節計の異常が表示されたため、確認したところ、配管の溶接部及びろう付け部からの漏えいを確認した。				
原因	腐食管理不良及び点検不良。				
対策	漏えい個所の更新及び補修。定期的な漏えい検知器による漏えい点検及び保温材の点検。				

No. 14					
年月日	R3. 3. 10	規則	一般	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	噴出・漏えい	主原因	誤操作・誤判断		
ガス名	空気	区分	2種	人的被害	なし
事故概要	空気充填設備と空気呼吸器の容器を連結ナットで接続し充填作業を実施中、連結ナットが弾け飛び、充填容器の弁と連結ナットの接続部が一部破損した。				
原因	連結ナットと空気ポンペの接続が不完全な状態で充填作業を実施した。				
対策	再発防止検討会の実施、取り扱い方法の掲示、取扱者への教育の実施及び確認の徹底。				

No. 15					
年月日	R3. 3. 29	規則	一般	内訳（分類）	災害（C2）
事故事象	盗難	主原因	盗難		
ガス名	酸素、アセチレン	区分	—	人的被害	なし
事故概要	普通貨物自動車が盗難され、自動車荷台に積んでいた酸素ガス容器1本、アセチレンガス容器1本も盗難された。				
原因	—				
対策	容器は車両に積み置きせず事業所内で保管する。				